

火の柱

ラスベガスには3つの内容があります。グランドキャニオン、フーバーダム、そして砂漠に人間の意志によって造られた街です。2007年から真の父母様が関心を持たれ準備をされてきました。なぜなのでしょう？今までは世界のへそと言われるハワイで精誠を尽くされて来られました。日本とハワイを結んだ延長線上にロサンゼルスがあります。そしてその先にあるラスベガスへと連結されて行かれたのです。そのラスベガスと言えば現代のソドムとゴモラです。一番神様と関係のない街を神様の街に変えるために投入されました。そのことにより多くの方が復帰されたのです。

そして2011年の大震災により日本の食口が来ることを条件にしてラスベガスの地に柱を立てることを決意され、いまのピースパレスに至ります。教育が難しかった暗闇の中に火の柱を立てるという事だったのです。本来は真のお父様が御存命中に建てることであればどれほどよかったのでしょうか？ラスベガスの地に行くこと自体が良い印象では無く噂になってしまったため、建設自体も遅れてしまったのが現状です。これがお父様の指示通りに早く進めることが出来たならばどのようになっていたのかと考えるのです。

今後、このピースパレスがどのように機能するかは分かりませんが、これは間違いなく歴史的な事実として、神様の復帰摂理の記憶として残されるはずで、このようにラスベガスと言う厳しい環境に火の柱を立てようとしているのに浦和においても火の柱を立てなければならないし、私たちも真の父母様の火の柱にならなければならないと思うのです。ですから真のお母様もおっしゃいますが、氏族の前に堂々としてくださいと、決して驕慢なりなさいという意味ではありません。自信を持って信仰を証かせるようにならなければならないのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. **お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。**
2. **真のお父様聖和三周年に向けての150日伝道路程**
来る8月30日は「真のお父様聖和三周年」を迎えます。聖和三周年までの150日期間(2015年4月1日～8月28日)、真の御父母様の生涯路程の勝利を相続し神氏族メシヤとして、全祝福家庭が絶対信仰で真の父母様と一つになり、死生決断、実践躬行で必ず勝利して行きましょう。
目標:1家庭祝福、礼拝参加
期間:第1次 4/1～5/20 第2次 5/21～7/9 第3次 7/10～8/28
3. **天宙聖和式3周年までの93日特別精誠**
精誠期間:2015年5月30日～8月30日
精誠内容:
1) 真の父母様と真のご家庭の安寧のために
2) 天の父母様と真の父母様の孝と伝統、真の愛を相続するため
3) ビジョン 2020 の実体天一国創建のため
4) 真のお父様聖和式3周年勝利(記念事業)と新しい出発のため
5) 神氏族メシヤ使命完遂のため
※陽.8月30日まで3人伝道、1家庭祝福(祝福感謝献金献納)
4. **第53回 真の万物の日**
日時:6月16日(火)
5. **第3地区 一対一伝道研修会**
日時:6月17日(水)～18日(木)
場所:一心特別研修院
6. **真のお父様聖和三周年行事案内**
8月28日 大役事参加者渡韓と清平修練会受付
8月29日 聖和記念式参加者渡韓
8月30日 真のお父様聖和三周年記念式参加
※一部の早く帰国される方も対応する予定です。
8月31日 世界会議(本部関係者、地区長)
7. **食口のための祈祷をお願いいたします。**



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区长: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 37番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	中村敏樹
聖	歌	聖歌隊
お	礼の言葉	代表者
説	教	ありがとうございました	
※聖	歌と献金 聖歌 20番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

浦和の食口の皆様と共にした27か月は幸せな期間でした。全国が祝賀するほど有名だった浦和教会を教区本部として、東埼玉の教区長としてスタートしました。すべての事が始まりであったので、作る喜びが大きかったです。

高校卒業するメンバーを中心として青年部が立ち上がり、ドリームアカデミーが準備できたこと、選挙と共に彩の国ファーズの名前ではじまった壮年部も名物になりました。お母様を埼玉でお迎えする事と共に、祝勝会では70本のバラと元気な歌を持ってお母様に喜びを返すことができました。

8回の天一国フェスティバルと4回のプライダル、そして13回の清心会、5回のバラの会、28回にわたる2DAY等々、行事が多くありました。運動会はたった2回でありましたがビリから2位まで成長することが出来ました。時間と共に成長する子供のように東埼玉と浦和も内的にも外的にも成長を感じることが出来ました。何より食口の皆様に私自身の健康の問題で心配をかけましたがこれぐらい健康を取り戻し、実家のような浦和教会を離れ、違う任地に行く事になったのは、皆様の愛のおかげでございませう。突然のことでさみしい心もありますが、天は絶対損することはしないと思ひます。行けるから行きますし、より成長の為に新しい責任者を準備したと思ひます。

教会を家のように昼、夜間わずら張った柄本婦人部長、どんな教会よりも固い基台と組織と共に戦った区域長の皆様、どんな時でも逃げることなく青年のように歩んでこられた食口の皆様、少ない人数で他の教会と教区より何倍の行事を行いながらも黙々と共にして下さったスタッフの皆様、本当にありがとうございました。受けた愛の万分の一も返すことができないまま、違うところにいきますけど、食口の皆様の幸せと健康のために続けて祈ります。もう一度ありがとうございました。

李 炯燮

統一運動

「鮮鶴平和賞」第1回受賞者を発表

米国ワシントンDCのナショナル・プレスクラブで6月8日(現地時間)、「鮮鶴(ソンハク)平和賞」の第1回受賞者の発表記者会見が、世界各地の報道関係者約100人が参加する中で行われました。発表式は鮮鶴平和賞財団のトマス・ウォルシュ会長(UPF国際本部会長)の司会で始まり、鮮鶴平和賞委員会の洪一植委員長(韓国・高麗大学元総長)が、「キリバスのアノテ・トン大統領とインドのモダドゥグ・ヴィヤイ・グプタ博士の2人が第1回鮮鶴平和賞の共同受賞者となった」と発表しました。洪委員長は選考にあたり、「鮮鶴平和賞の『未来世代の平和』というビジョンに基づき、気候変動と食糧危機に注目した」と述べ、「トン大統領は、気候変動危機の最前線で人類の未来と平和のために努力をし、グプタ博士は、未来における食糧危機の代案として、革新的な魚の養殖技術を開発し、『青の革命』を起こした」と選考理由について説明しました。また洪委員長は、鮮鶴平和賞の意義について、「これから人類共同体は、道徳的正当性と論理的合理性に基づいて、果敢に動いて実践しなければなりません。鮮鶴平和賞が提示する革新的ビジョンと行動の変化は、より次元の高い21世紀の平和文明を切り開いていくこととなるでしょう」と述べました。



2015年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2015年 活動指針

1. 訓読の伝統確立
2. 青年・学生伝道強化
3. 神氏族メシヤ責任完遂
4. 真の家庭国民運動展開